平成19年12月　発行

養成所ニュース

平成19年度　第1号　NO.17

発　行
財団法人 日本知的障害者福祉協会
社会福祉士養成所
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19
KDX浜松町ビル6F
TEL:03-3438-0984 FAX:03-3431-1803

専任教員の独り言

社会福祉士養成所
専任教員　中野恵美子

10月から専任教員として採用された中野恵美子と申します。よろしくお願いします。

受講生のほとんどの方は働きながらの受講だろうと思います。私自身も10数年前、障害者施設に勤め、3人の子の子育て真最中という中で通信教育を受講しました。児童福祉の分野を希望して東京都民生局（現在の福祉局）に就職したのですが、3度目の転勤で成人の障害者施設に配属になり、何らかの方法で知識を得る必要性に迫られていた時、社会福祉を学べる通信制の専門学校があることを知ったのです。まだ社会福祉士の有資格者は全国でも千人に満たない頃のことでした。どうにか資格を取得したものの、知識や技術が飛躍的に向上したわけでもない自分に物足りなさを感じて、数年後には社会人のための大学院に入学し、それは現在も継続しています。

当たり前のことですが、年を重ねるにつれて視力や記憶力は衰えますが、その一方で問題意識は鮮明になり、何がしかの判断力もついてきます。社会福祉士会でも生涯研修制度が発足し、「ソーシャルワーカーとして学び続ける体制」も整いつつあります。どのようなかたちであれ、生きているかぎり学ぶことに終わりはないものと思います。仕事の方ではその後も転勤が続き、合計8ヶ所の施設に勤めました。最後は介護保険の認定審査事務を担当しましたが、より福祉の現場に近く、専門性が生かせる職を求めて、定年までに数年を残して32年余りの役所生活に終止符を打ちました。

これらからの社会で社会福祉士の役割がますます重要になっていくことは誰の目にも明らかなことですが、私が資格を取得した頃、社会福祉士の集まりでは「医師、弁護士、社会福祉士と言われるようになろう」といったことがしきりに言われていました。病気になれば病院に行き、法律的なことで困れば法律事務所に出かけていくように、生活上に困難が生じれば社会福祉士のもとを訪ねる…そんな頼られる専門家として、社会的に認知されるようになろうということです。それから10数年たった今、有資格者は9万人を超え、少しずつ社会的な認知度も高まり、社会福祉士会の研修制度も充実し、活動分野も広げられてきています。私自身も社会福祉士会によるホームレス実態調査やハンセン病元患者の生活調査などに参加して貴重な体験をし、またIFSW（国際ソーシャルワーカー連盟）の活動を知って、国際的な視野の必要性を実感しているところです。

「働きながら学ぶ」ということには、もちろんたいへんさもありますが、働いているからこそ持てる、現場体験に裏打ちされた問題意識は何よりの強みでもあります。仕事をもっているという緊張感と切実感、そして積み重ねてきた人生経験はきっと大きなアドバンテージとなって、皆さんを後押ししてくれるものと思います。

19期生の方々とはちょっとおくれた同期生として、18期生の方々とは短いお付き合いとなりますが、できるだけのことをしていきたいと思っています。ともに学び、成長していきましょう。

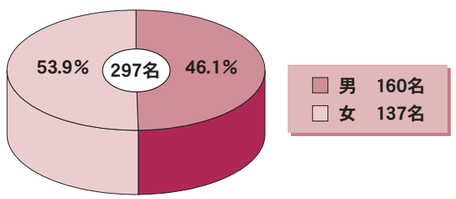
■第19期生の概要（平成19年4月1日現在）

第19期生社会福祉士養成所の受講生は、297名です。
概要については下記の通りとなります。

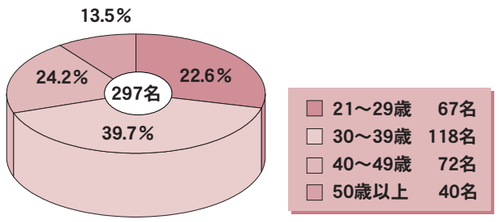
●応募状況（過去３年間）

年度（期生）	応募者数	入学者数
平成17年度（17期生）	475名	340名
平成18年度（18期生）	454名	324名
平成19年度（19期生）	331名	297名

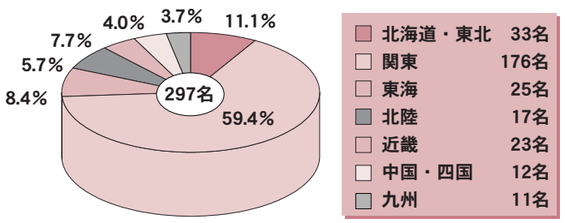
受講生男女比



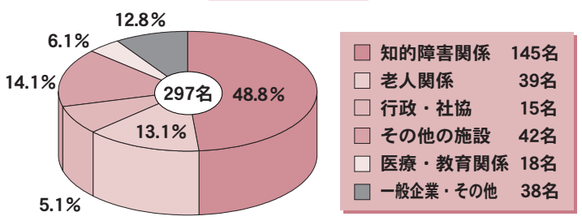
年齢別分布



地区別分布



勤務先種別



第18期生318名が受講修了

「修了にあたって」

財団法人 日本知的障害者福祉協会　社会福祉士養成所

所　長
小板　孫次

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、受講生300余名が、本養成所の全課程を履修され、めでたく修了されることとなりました。

皆様方の多くは、日夜お忙しい勤務の中で学習に勉励されてこられたもので、その真摯なご努力に対しまして、心から敬意をもって「おめでとう」を申し上げたいと思います。

近年、福祉を取り巻く環境の変化にともない、利用者本位の福祉サービスの充実とそのサービス提供者の専門的な質・知識・技術の向上が不可欠となっています。

このような時期、皆様方には福祉現場の第一人者としての社会福祉士が益々期待されるところであります。

この度の修了をステップとして、更に新たな目標に向かって、一層のご研鑽を期待いたしますとともに、益々のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

修了おめでとうございます

社会福祉士養成所　平成19年度の修了者は318名となりました。
国家試験合格にむかって頑張ろう!

●●● 修了者内訳 ●●●

在籍者数は18期生（324名）延長者（24名）で合計348名
修了者数は18期生（299名）延長者（19名）で合計318名

平成19年10月31日付けで、当養成所を修了された方は、上記の修了者内訳のとおり318名となりました。これは在籍者の91%にあたり、通信課程である事を考えれば、高い修了率といえます。また、ほとんどの方が仕事との両立で修了するまでには大変な努力が必要であったかと思います。

しかし、これで満足していてはいけません。目の前には皆さんの目標である社会福祉士国家試験が1月に迫っています。

これまでの努力を無駄にしないためにも、今まで以上により一層の勉学に勤しみ、多くの方々が社会福祉士合格という最終目的に達することを期待しています。

第20回 社会福祉士国家試験の概要

試験日時及び試験科目

試験日	試験時間	試験科目（13科目）
平成20年 1月27日 （日曜日）	10時00分～11時55分	①社会福祉原論　⑤心理学 ②社会保障論　⑥社会学 ③公的扶助論　⑦法学 ④地域福祉論　⑧医学一般
	13時30分～15時35分	⑨老人福祉論　⑫社会福祉援助技術 ⑩障害者福祉論　⑬介護概論 ⑪児童福祉論

試験地（19カ所）

北海道、青森県、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、香川県、福岡県、鹿児島県及び沖縄県

国家試験の受験申し込みから資格登録まで

受験申込受付期間
平成19年9月6日（木）～10月5日（金）（消印有効）

▼

受験票発送
平成19年12月7日（金）投函

▼

試験の実施
平成20年1月27日（日）投函

▼

合格発表（合否通知発送）
平成20年3月31日（月）合格者受験番号掲示・ホームページ掲載
合格・不合格通知投函

▼

登録の申請

▼

社会福祉士資格取得（登録）

国家試験に向けてのおすすめ図書

＜最近の動向や数値に関する情報源として＞
- 国民の福祉の動向（厚生統計協会）
- 厚生労働白書（ぎょうせい）
- 福祉新聞（福祉新聞社）

＜最後の仕上げや知識の整理に＞
- 必携・社会福祉士（筒井書房）
- 社会福祉士・受験ワークブック（中央法規）
- 社会福祉用語辞典（ミネルヴァ書房）
- 社会福祉小六法（中央法規）

※社会福祉士国家試験出題基準・合格基準は（財）社会福祉振興・試験センターのHP（http://www.sssc.or.jp）に掲載されています。

●合格基準●

次の2つの条件を満たした者を合格とします。

（1）問題の総得点の60%程度を基準として、問題の難易度で補正した点数以上の得点の者。

（2）（1）を満たした者のうち、試験科目（ただし、社会福祉援助技術については、「一問一答問題」と「事例問題」をそれぞれ別個の試験科目とみなす。）14科目の各科目すべてにおいて得点のあった者。

（注）配点は、1問1点の150点満点です。

第19回国家試験合格状況

第19回社会福祉士国家試験において本養成所より196名が合格しました。昨年度（第18回試験）は235名でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（%）
第1回試験	1,033	180	17.4
第2回試験	1,617	378	23.4
第3回試験	2,565	528	20.6
第4回試験	3,309	874	26.4
第5回試験	3,886	924	23.8
第6回試験	4,698	1,049	22.3
第7回試験	5,887	1,560	26.5
第8回試験	7,633	2,291	30.0
第9回試験	9,649	2,832	29.4
第10回試験	12,535	3,460	27.6
第11回試験	16,206	4,774	29.5
第12回試験	19,812	5,749	29.0
第13回試験	22,962	6,074	26.5
第14回試験	28,329	8,343	29.5
第15回試験	33,452	10,501	31.4
第16回試験	37,657	10,733	28.5
第17回試験	41,044	12,241	29.8
第18回試験	43,701	12,222	28.0
第19回試験	45,022	12,345	27.4
合　計	340,997	97,058	28.5

●第19回社会福祉士国家試験合格基準●

次の２つの条件を満たした者を合格者とする。

１－１．総得点150点に対し、得点81点以上の者（総得点の60%程度を基準として、問題の難易度で補正した。配点は１問１点である。）。

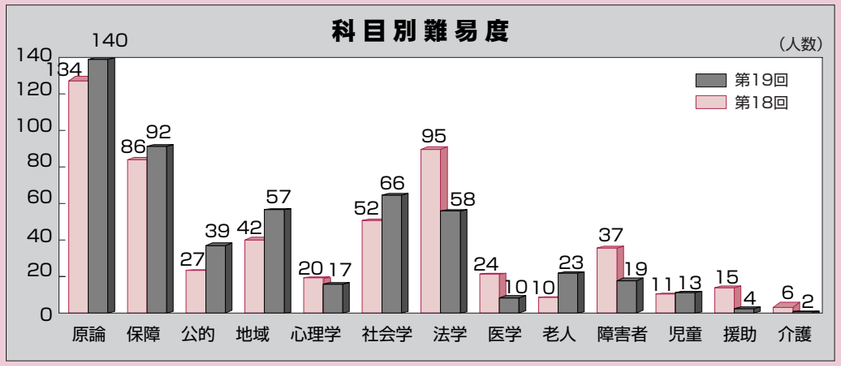
１－２．試験科目の一部免除を受けた受験者（社会福祉士及び介護福祉士法施行規則第５条の２）総得点70点に対し、得点41点以上の者（総得点の60%程度を基準として、問題の難易度で補正した。配点は１問１点である。）。

２．１－１又は１－２を満たした者のうち、１－１に該当する者にあっては、試験科目（ただし、社会福祉援助技術については、「一問一答問題」と「事例問題」をそれぞれ別個の試験科目とみなす。）14科目（１－２に該当する者にあっては、６科目。）の各科目すべてにおいて得点があった者。

第19回社会福祉士国家試験受験状況

受験者	合格者	合格率
45,022人	12,345人	27.4%

第19回国家試験に関するアンケートについて



平成18年９月に修了した第17期生315名を調査対象とし、211名（①受験をした185名、②申込をしたが当日受験をしなかった10名、③申込をしなかった16名）からの回答が得られました。

左図は受験者の意見を参考に科目別難易度を示したグラフです。

社会福祉原論・社会保障論・社会学・法学・地域福祉論の順に難しいと回答しています。

なお、昨年度（回答数213名）と比較すると地域福祉論の難易度が高くなっています。

※厚生労働省へ報告の関係上、現在もアンケートは回収しています。なお、回答がない方には、催促の連絡をする場合がありますのでご了承ください。

―お知らせ―
さぽーと倶楽部（施設職員互助会）
「資格取得祝金」給付！

☆さぽーと倶楽部（施設職員互助会）では、平成17年度より資格取得祝金（10,000円）を給付しています。

☆さぽーと倶楽部会員（施設職員互助会加入期間６か月以上）で平成17年４月１日以降に社会福祉士として登録した方が対象です。

☆詳細は下記までお問い合わせ又は当協会ホームページをご覧ください。
〔問い合わせ先〕さぽーと倶楽部（施設職員互助会）係
〔電話〕03－3438－0466

※施設職員互助会とは…本協会会員・準会員施設に施設に勤務している方を対象とした福利厚生事業です。

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。　yoseijo@aigo.or.jp

通信教育 Q&A

受講生の方からよくある問い合わせについてお答えします。

Q1 引越で住所が変わったのですが？

A
- 住所・氏名・勤務先に変更が生じた場合には、すみやかに住所・氏名・勤務先変更届により届出てください。
- 上記変更は本養成所ホームページの登録変更フォームより登録変更することも可能です。
- 住所を変更した場合は、上記届出とあわせて、郵便局にて転送手続きを行ってください。

Q2 修了証明書を請求したいのですが？

A
- 国家試験の受験等、本養成所修了後に修了証明書が必要な場合は、次の2点を用意し、本養成所庶務部あてに請求してください。
  ①修了証明書交付願（受講の手引・ホームページに様式添付）、
  ②返信用封筒（返信先を明記し、80円切手を貼付したもの）
- 交付に際して、手数料は必要ありません。そのため、返信用封筒がない場合や交付願による請求でない場合は、発行できませんので、ご注意ください。